

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en

fischer 

バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 1: 成分、混合物、及び会社名

1.1 製品識別

製品名 **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

欧州化学式識別子 **FG70-60TM-Q00P-D23Y**
(Unique Formulation Identifier (UFI))

1.2 識別された成分あるいは混合物の使用、及び留意すべき使用

特定した重要な用途 **複合樹脂**
推奨された制限 **専門的な資料を守ること。**

1.3 安全性データシートを用意するサプライヤーについての詳細

製造元 **fischerwerke GmbH & Co. KG**
Klaus-Fischer-Straß 1
D-72178 Waldachtal, Germany
電話: +49(0) 7443 12-0
ファクス: +49(0) 7443 12-4222
E メール: info-sdb@fischer.de
ホームページ: www.fischer.de

輸入・販売元 **フィッシャー ジャパン株式会社**
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-4-15 清新九段ビル 3F
電話: 03-3263-4491
ファクス: 03-6272-9935
E メール: info@fischerjapan.co.jp
ホームページ: www.fischerjapan.co.jp

1.4 緊急電話番号

緊急電話番号 (同上・フィッシャー ジャパン(株))

セクション 2: 危険の可能性

2.1 成分および混合物のクラス

欧州議会・理事会規則 **皮膚刺激性 2; H315 眼に対する損傷性/刺激性 1; H318**
(EC) No. 1272/2008 **皮膚感作性 1; H317**
に準ずる等級分類

2.2 ラベル特性

注意絵表示



GHS05



GHS07

注意喚起語

危険

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

ラベル上で示される危険なコンポーネント ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル、ポルトランドセメント、メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル、2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)

H フレーズ H315: 皮膚刺激。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318: 重篤な目の損傷。

P フレーズ P101: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。
P102: 子供の手の届かない所に保管すること。
P280: 保護手袋/保護衣/防護メガネ/顔面防護具を着用すること。
P305+P351+P338: 眼に入った場合: 清水で数分間注意深く洗顔すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗眼を続けること。
P310: 直ちに医師に連絡すること。

2.3 その他の危険

健康上有害なもの	入手できる情報は無い
人間/環境のための特別な情報に関する固有のリスク	入手できる情報は無い
危険の表示	入手できる情報は無い
危険警戒	入手できる情報は無い

セクション 3: 組織/構成要素の記述

危険な成分

成分		分類 1272/2008/EC	濃度
ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	CAS 番号: 2082-81-7 EG 番号: 218-218-1 REACH 番号: 02-2119849716-25	皮膚感作性 1B; H317	10.0~25.0% 重量の割合
ポルトランドセメント	CAS 番号: 65997-15-1 EG 番号: 266-043-4 REACH 番号: 物質は規制(EC) No 1907/2006 [REACH] に準じて登録を必要としない。	皮膚刺激 2; H315 眼に対する損傷性/刺激性 1; H318 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 3; H335	10.0~20.0% 重量の割合
メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル、2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	CAS 番号: 27813-02-1 EG 番号: 248-666-3 REACH 番号: 01-2119490226-37	皮膚感作性 1; H317 眼の刺激 2; H319	2.5~10.0% 重量の割合

セクション 4: 応急処置対策

4.1 応急処置対策

一般的助言 直ちに全ての汚染した衣服を脱ぐ。
事故又は病気の場合は直ちに診察を受ける。(医師の診察の際、本安全性データシートを見せることを薦める)
症状が持続する場合は直ちに医師に連絡する。
人体防護装置を着用する。(セクション 8 を参照する)

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en

fischer 

バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

吸入した場合	新鮮な空気を供給する。 気道刺激性がある場合は直ちに医師の診断を受ける。
皮膚接触の場合	皮膚へ接触した後、十分な水と石で洗う。 溶剤系又はシンナー系は使用しない。
眼に入った場合	コンタクトレンズを外す。 眼に入った場合は直ちに大量の清水で瞼を開いて 10～15 分間洗眼する。直ちに眼科医の診断を受ける。
摂取した場合	誤って摂取してしまった場合、(その人に意識がある場合のみ) 大量の水で口をすすぐ。医師の応急処置を受ける。 水を少しずつ飲ませる。(希釈効果) 吐き出させない。

4.2 重要な急性および後発性症状と影響

徴候 入手できる情報は無い

4.3 医療緊急措置あるいは特別治療に関する注意

医師の応急処置 意識がない場合は回復体位にする。

特別な医療 症状を治療する。

セクション 5: 消火作業のための対策

5.1 消火剤

適切な消火剤 ミストスプレー、(水)、ウォータースプレージェット、耐アルコール性泡、二酸化炭素(CO₂)、乾燥粉末

安全上使用してはいけない消火剤 大容量水ジェット

5.2 成分又は混合物により発生しうる危険の特性

物質、準備、その燃焼 加熱又は火災により有毒ガスが発生する。
生成物、又は 方出ガス 適切な距離から注意して消火すること。
による特別な接触危険

5.3 消火措置に関する注意

消火のための特別の設備 火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。
直接の皮膚接触から保護するために防護服の必ず着用する。(普段の作業服に加えて)

消火上の追加情報 ウォータースプレージェットによるガス/蒸気/ミストを抑制する(止める)。
消火に使用した水を排水、地表、水路へ流さない。

セクション 6: 予期しない放出の際の対策

6.1 人体の予防措置、保護装置、緊急事態の対処法

人体への警告

非緊急事態要員

意図しない放出の際の措置:

人体防護装置を着用する。(セクション 8 を参照する)

全ての着火源を取り除く。

特に閉所では十分な換気の確保が必要です。

6.2 環境保護対策

環境上の警告

本製品が、排水、水路、又は地表へ流れ込まないように留意する。
広範囲に及ぶのを防ぐ。(例: 隔離、オイルバリアの使用等)

6.3 滞留および洗浄のための方法と物質

洗浄の方法

硬化させて、機械類を用いて回収処理する。

回収された物質は廃棄物処理のセクションに記載されている処理を参照する。

6.4 他章を参照

参照する他章

参照: セクション 7, 8, 13

セクション 7: 取り扱いと保管

7.1 安全な処理のための措置

安全な取扱いについての忠告

容器の栓をしっかりと閉める。

衛生処置: 使用の際は、飲食又は喫煙をしない。休憩前や終業時には手を洗う。汚れた衣類を脱ぎそして再使用する場合には洗濯する。

注意: 硬化状態の加工中に、ダストが発生する。

火と爆発からの身を守るため
忠告

通常の使用では特に必要がない。

7.2 不適合性を考慮した安全な保管のための条件

保管スペースとコンテナの
必要条件

容器の栓をしっかりと閉める/保管する。

容器を密閉し乾燥した場所に保管する。

地域の規則に従い保管する。

容器用に不適切な材質

オリジナル容器のみで保管する。

保管上のヒント

飲食物やペットフードから離す。

ドイツ保管クラス

10~13 (TRGS 510) (TRGS 510 = Technical Rule for Hazardous Substances 510,
ドイツ危険物質 510 のためのテクニカル規則)

例: 11 (Brennbare Feststoffe = Flammable Solids =
燃焼性固体)

推奨の保管温度

5 ~ 25 °C

セクション 8: 暴露の制限と監視/人体防護装備

8.1 監視パラメーター

ポルトランドセメント

長期暴露値 [mg/m ³]	備考	情報元
10	吸入可能粉塵	社内データ
4	呼吸性粉塵	社内データ

8.2 暴露の制限

呼吸の保護	換気が十分でない場合には、呼吸用の保護具を着用する。
手の保護	健康被害は通常の使用では知らされていないか、予想されていない。 長期間又は繰り返し接触用には保護手袋を使用する。
適切な材質:	例として欧州規格 EN 374 に準拠した保護手袋 ブチルゴム、クロロプレンゴム、ニトリルゴム、フッ素系ゴム
不適切な材質:	PVC (ポリ塩化ビニル) 又はラバー手袋は推奨しません。
材質の厚さ:	使用の用途と期間により調整
変換期:	使用の用途と期間により調整
備考:	製造社から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業場の条件 (機械との酷使、接触時間) に注意する。
注意:	消耗したら取り替える。
眼の保護	飛散の対策に密着性が高い安全ゴーグル 例として欧州規格 EN 166 に準拠したサイドシールド付き安全ゴーグル
皮膚および身体保護	長袖の服を着用する。
注意:	作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、人体保護を選択する。
一般的な保護と衛生対策	本製品を使用する際は、飲食、喫煙は禁止。 皮膚、眼との接触は避ける。 休憩前や終業時には手及び顔を洗う。 必要な場合はシャワーを浴びる。 飲食物やペットフードから離す。 この製品を扱う前には、皮膚保護クリーム等を使う。
環境保護規則についての情報	環境に対する特別処置は不要。 セクション 6 及び 7 を参照。
環境対策	十分な換気を行う。

セクション 9: 物理的および化学的な性質

9.1 物理的および化学的な性質の基本的な情報

物理的な状態	ペースト
色	ベージュ色
匂い	特徴あり
臭気閾値	確定されていない
融点 [°C] / 氷点 [°C]	データなし
沸点 [°C]	データなし
引火点 [°C]	>100
蒸発速度 [kg/(s * m ²)]	入手できるデータは無い
可燃性	入手できるデータは無い
爆発限界 [Vol-%]	入手できるデータは無い
蒸気圧力 [kPa]	入手できるデータは無い
密性 [g/cm ³] 温度	1.7 ~ 1.8 23 °C
相対密度	入手できるデータは無い
水可溶性 [g / l]	入手できるデータは無い
可溶性 [g / l]	入手できるデータは無い
分解係数 (n-オクタン / 水) [log P O / W]	入手できるデータは無い
自然発火性	非自然発火性
分解温度 [°C]	入手できるデータは無い
動的粘性 [kg/(m*s)] 温度	120 ~ 160 20 °C
爆発性	非爆発性
酸化性	酸化性は無い

セクション 10: 安定性と反応性

10.1 反応性

反応性 規定に従っての取扱い及び保管された場合は危険な反応は無い。
指示どおりの保管と適用においては分解ない。

10.2 化学安定性

化学的な安定性 保管及び取扱いに関する推奨する規制を適用する場合は安定している。
正しい保管に関する更なる情報: セクション 7 を参照。

10.3 危険有害反応

危険な反応 規定に従っての取扱い及び保管された場合は危険な反応は無い。

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

10.4 回避すべき条件

回避すべき条件 混合物は推奨される保管、使用、及び温度の条件下で化学的に安定している。

10.5 不適合物質

回避すべき物質 強酸および酸化剤

10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物 既知の危険な分解生成物はありません。

セクション 11: 毒性情報

11.1 毒性の影響による情報

経口毒性 [mg/kg]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル				
値	試験基準	試験動物	情報元	
> 5000	LD ₅₀	ラット	社内データ	

ポルトランドセメント				
値	試験基準	試験動物	情報元	
> 2000	LD ₅₀	文献値	社内データ	

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)				
値	試験基準	試験動物	備考	情報元
> 2000	LD ₅₀	ラット	OECD 試験ガイドライン 401	社内データ

経皮毒性 [mg/kg]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル				
値	試験基準	試験動物	情報元	
> 3000	LD ₅₀	ウサギ	社内データ	

ポルトランドセメント				
値	試験基準	試験動物	備考	情報元
> 2000	LD ₅₀	ウサギ	制限試験 2000 mg/kg	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)				
値	試験基準	試験動物	情報元	
> 5000	LD ₅₀	ウサギ	社内データ	

吸入毒性 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル		
値	情報元	
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ	

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

ポルトランドセメント				
値	試験基準	試験動物	備考	情報元
> 5	LC ₅₀	ラット	制限試験 5 g/m ³	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
入手できるデータは無い。	社内データ

LC₅₀ 吸入性 ガス状用 1 時間 [ppmV]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

LC₅₀ 吸入性 ガス状用 4 時間 [ppmV]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

LC₅₀ 吸入性 蒸気用 1 時間 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

LC₅₀ 吸入性 蒸気用 4 時間 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

LC₅₀ 吸入性 ダスト及び噴霧用 4 時間 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

LC₅₀ 吸入性 ダスト及び噴霧用 4 時間 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン : 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日 : 2020 年 10 月 28 日

皮膚への刺激影響

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル				
値	測定方法	試験動物	備考	情報元
刺激物ではない	FDA 1959	ウサギ	24 時間	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
刺激物	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)		
値	測定方法	情報元
皮膚への刺激はない	OECD 試験ガイドライン 404	社内データ

眼への刺激影響

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル			
値	試験動物	備考	情報元
刺激物ではない	ウサギ	24 時間	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
眼への深刻な損傷を引き起こす	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)		
値	測定方法	情報元
刺激性	OECD 試験ガイドライン 405	社内データ

気道への刺激影響

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル			
値	試験動物	備考	情報元
刺激物ではない。	マウス	24 時間	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

感作性

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル			
値	測定方法	試験動物	情報元
皮膚感作性	OECD 試験ガイドライン 429	マウス	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

ポルトランドセメント	
値	情報元
感作反応は観察されなかった。	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
皮膚感作物質	社内データ

発がん影響

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
該当はない。	社内データ

変異原性

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)		
値	測定方法	情報元
該当はない。	OECD 471 (Ames 試験) / OECD 476	社内データ

繁殖毒性

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)		
値	測定方法	情報元
該当はない。	OECD 422	社内データ

苛性影響

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル			
値	測定方法	試験動物	情報元
刺激物ではない。	FDA 1959	マウス	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) [mg/kg]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
備考	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

ポルトランドセメント	
特定影響	情報元
呼吸器系を刺激する。(ダスト)	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
備考	情報元
該当はない。	社内データ

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) [mg/kg]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
備考	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

ポルトランドセメント	
備考	情報元
入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
備考	情報元
該当はない。	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: FIS VS Plus 360 S — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性

魚毒性 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル						
値	試験基準	試験動物	測定方法	暴露期間	備考	情報元
32.5	LC ₅₀	コイ科 (ゴールデンオルフェ)	ドイツ工業規格 DIN 38412 / Part 15	48 時間	類推による。	社内データ

ポルトランドセメント		
値	測定方法	情報元
> 100	LC ₅₀	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)					
値	試験基準	試験動物	測定方法	暴露期間	情報元
493	LC ₅₀	コイ科 (ゴールデンオルフェ)	ドイツ工業規格 DIN 38412	48 時間	社内データ

ミジンコ毒性 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル					
値	試験基準	試験動物	暴露期間	測定方法	情報元
7.51	EC ₁₀	オオミジンコ (Big water flea)	48 時間	OECD 211	社内データ

ポルトランドセメント			
値	試験基準	試験動物	情報元
> 100	LC ₅₀	オオミジンコ (Big water flea)	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)					
値	試験基準	試験動物	暴露期間	測定方法	情報元
> 130	EC ₅₀	オオミジンコ (Big water flea)	48 時間	OECD 202	社内データ

藻類毒性 [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル					
値	試験基準	試験動物	暴露期間	測定方法	情報元
9.78	EC ₅₀	デスマデスムス属	72 時間	OECD 201	社内データ

ポルトランドセメント		
値	試験基準	情報元
> 100	EC ₅₀	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)					
値	試験基準	試験動物	暴露期間	測定方法	情報元
> 97.2	EC ₅₀	プセウドキルクネリエラ属	72 時間	OECD 201	社内データ

NOEC (無影響濃度) (魚) [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
20	社内データ

NOEC (無影響濃度) (ミジンコ) [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
20	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)				
値	測定方法	試験動物	測定方法	情報元
24.1	NOEC	オオミジンコ (Big water flea)	OECD 202	社内データ

NOEC (無影響濃度) (藻類) [mg/l]

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
20	社内データ

12.2 残存性および退化性

生分解性

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
備考	情報元
易生分解性 (OECD 基準により)。	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
該当はない。(無機)	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
易生分解性。	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

12.3 生物濃縮の可能性

生物濃縮性

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
分解係数 (n-オクタン/水)により、生物への蓄積は想定されていない。	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
該当はない。(無機)	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
入手できるデータは無い。	社内データ

12.4 土壌中の移動性

移動性

有害な成分

ポルトランドセメント	
値	情報元
該当はない。(無機)	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
入手できるデータは無い。	社内データ

12.5 PBT と vPvB 評価の結果

PBT 特性の検出結果

有害な成分

ビス(メタクリル酸)1,4-ブタンジイル	
値	情報元
本物質は REACH, Annex XIII による PBT/vPvB 基準を満たしていない。	社内データ

ポルトランドセメント	
値	情報元
該当はない。	社内データ

メタクリル酸ヒドロキシプロピル(2-ヒドロキシプロピルエステル, 2-ヒドロキシ-1-メチルエチルエステル混合物)	
値	情報元
該当はない。	社内データ

参照: PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic 残留性・蓄積性・毒性を有する物質
 vPvB = Very Persistent and Very Bioaccumulative 高残留性・高蓄積性を有する物質

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄処理方法

廃棄の注意

排水は水路、地面に排出しないように留意する。

廃棄物処理は、準拠する地域の規制等の指示に従う。

容器内の残物を空にする。

空容器: 可能な場合は、廃棄又は焼却よりもリサイクルする。

製品: 固形廃棄物として処分するか、地域の規制に従い適切な設備において燃焼させることができる。

廃棄コード (ドイツの例)

欧州廃棄物カタログによると、廃棄コードは製品ごとに決められているのではなく、その適用に基づいて決められている。

以下の廃棄コードは例である。

製品 (主剤 及び 硬化剤)

200127 – 危険物質を含むペイント、インク、接着剤、及び 樹脂

080409 – 有機剤またはその他危険物質を含む廃棄接着剤及びシーリング剤

硬化した製品片 及び 完全に出し切ったカートリッジ

200000 – 分別収集物を含む自治体廃棄物 (家庭系廃棄物と類似の商業系、工場系、産業系廃棄物)

セクション 14: 輸送に関する情報

	陸上交通 (ADR/RID)	海上運輸 (IMDG)	空輸 (ICAO/IATA)
14.1 UN 番号	該当無し	該当無し	該当無し
14.2 製品の概要	ADR により非危険製品	IMDG により非危険製品	IATA により非危険製品
14.3 輸送における危険有害性クラス	該当無し	該当無し	該当無し
14.4 梱包グループ	該当無し	該当無し	該当無し
14.5 環境に対する有害性	該当無し	該当無し	該当無し
14.2 UN 正式輸送名		非危険製品	非危険製品

14.6 使用者のための注意点

注意点

通常の使用では必要が無い。

14.7 MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードに基づく大量輸送

MARPOL 73/78 付属書 II
及び IBC コードに基づく
大量輸送

該当無し

14.8 追加の情報

他の情報 (セクション 14)

—

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 15: 法令規制の情報

15.1 安全、健康及び環境に関する規定/物質及び混合物に関する特別法規定

VOC < 1 g/l / < 0.1 %

Deco-paint 規制 関連しない

GefStoffV 付属書 II による
発がん性有害物質 無い

参照: GefStoffV (Gefahrstoffverordnung) = ドイツにおける危険有害物質に関連する法令

職業上の制限 該当無し

15.2 化学物質安全性評価

安全性評価 本混合物の物質の化学物質安全性評価は実施されていない。
本安全性データシートには統合された形式で複数の暴露シナリオ (Exposure Scenario = ES)が含まれています。
暴露シナリオの内容は本安全性データシートのセクション 1.2, 8, 9, 12, 15 及び 16 に含まれております。

追加の規制 本安全性データシートには化学物質の登録(Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorization)、制限 (Restriction) に関する (REACH)評議会の欧州議会の規制 (EC) No. 1907/2006 の改訂で委員会規制(EU) 2015/830 of 28 May 2015 に従って作成されています。

セクション 16: その他の情報

関連の H フレーズ
H315: 皮膚刺激。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
H318: 重篤な眼の損傷。
H319: 眼に強い刺激。
H335: 呼吸器への刺激のおそれがある。

危険等級の表記
Skin Irrit.: 皮膚刺激
Eye Dam.: 重篤な眼の損傷
STOT SE: Specific Target Organ Toxicity – Single Exposure
特定の標的臓器毒性 (単回暴露)
Skin Sens.: 皮膚感作
Eye Irrit.: 重篤な眼への刺激

(EC)1207/2008 [CLP] 規制に
準ずる混合物の分類と評価

分類	評価
皮膚刺激 2; H315	算出済み
重篤な眼の損傷 1; H318	算出済み
皮膚刺激 1; H317	算出済み

推奨された制限 専門的な資料等を守る。

前バージョンからの変更箇所をアスタリスク(*)で示す。

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 A (主剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン : 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日 : 2020 年 10 月 28 日

本情報は弊社の知識および経験の最新状況に基づいております。本安全性データシートは安全性要件に基づいて製品を説明しております。本情報は性能、特性、品質の保証をするものではありません。

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en

fischer 

バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 1: 成分、混合物、及び会社名

1.1 製品識別

製品名 **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

欧州化学式識別子 7D70-Q047-E005-QQHW
(Unique Formulation Identifier (UFI))

1.2 識別された成分あるいは混合物の使用、及び留意すべき使用

特定した重要な用途 複合樹脂
推奨された制限 専門的な資料を守ること。

1.3 安全データシートを用意するサプライヤーについての詳細

製造元 fischerwerke GmbH & Co. KG
Klaus-Fischer-Straß 1
D-72178 Waldachtal, Germany
電話: +49(0) 7443 12-0
ファクス: +49(0) 7443 12-4222
E メール: info-sdb@fischer.de

輸入・販売元 フィッシャージャパン株式会社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-4-15 清新九段ビル 3F
電話: 03-3263-4491
ファクス: 03-6272-9935
E メール: info@fischerjapan.co.jp
ホームページ: www.fischerjapan.co.jp

1.4 緊急電話番号

緊急電話番号 (同上・フィッシャージャパン(株))

セクション 2: 危険の可能性

2.1 成分および混合物のクラス

欧州議会・理事会規則 眼に刺激性 2; H319 皮膚感作性 1A; H317 急性水生毒性 1; H400
(EC) No. 1272/2008 慢性水生毒性 1; H410
に準ずる等級分類

2.2 ラベル特性

注意絵表示



GHS07



GHS09

注意喚起語

危険

ラベル上で示される危険
なコンポーネント

過酸化ベンゾイル、2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

- H フレーズ
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 - H319: 眼に強い刺激。
 - H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
- P フレーズ
- P101: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。
 - P102: 子供の手の届かない所に保管すること。
 - P280: 保護手袋/保護衣/防護メガネ/顔面防護具を着用すること。

2.3 その他の危険

健康上有害なもの	入手できる情報は無い
人間/環境のための特別な情報に関する固有のリスク	入手できる情報は無い
危険の表示	入手できる情報は無い
危険警戒	入手できる情報は無い

セクション 3: 組織/構成要素の記述

危険な成分

成分		分類 1272/2008/EC	濃度
過酸化ベンゾイル	CAS 番号: 94-36-0 EG 番号: 202-327-6 Index 番号: 617-008-00-0 REACH 番号: 01-2119511472-50	有機過酸化物 B ; H241 眼の刺激 2 ; H319 皮膚感作性 1 ; H317 水生環境急性有毒性 1 ; H400 慢性水生毒性 2 ; H410	10.0 ~ 100.0% 重量の割合
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	CAS 番号: 2682-20-4 EG 番号: 220-239-6 Index 番号: 613-326-00-9 REACH 番号: 01-212074690-50	急性毒性 3 ; H301 急性毒性 2 ; H330 皮膚腐食性 1B ; H314 重篤な眼の損傷 1 ; H318 水生環境急性有毒性 1 ; H400 慢性水生毒性 2 ; H411 皮膚感作性 1A ; H317	0.0015 ~ 0.25% 重量の割合

セクション 4: 応急処置対策

4.1 応急処置対策

一般的助言	直ちに全ての汚染した衣服を脱ぐ。 事故又は病気の場合は直ちに診察を受ける。(医師の診察の際、本安全性データシートを見せることを薦める) 人体防護装置を着用する。(セクション 8 を参照する)
吸入した場合	新鮮な空気を供給する。 気道刺激性がある場合は直ちに医師の診断を受ける。
皮膚接触の場合	皮膚へ接触した後、十分な水と石で洗う。 溶剤系又はシンナー系は使用しない。
眼に触れた場合	コンタクトレンズを外す。 眼に入った場合は直ちに大量の清水で瞼を開いて 10~15 分間洗眼する。直ちに眼科医の診断を受ける。

摂取した場合 誤って摂取してしまった場合、(その人に意識がある場合のみ) 大量の水で口をすすぐ。医師の応急処置を受ける。
水を少しずつ飲ませる。(希釈効果)
吐き出させない。

4.2 重要な急性および後発性症状と影響

徴候 入手できる情報は無い

4.3 医療緊急措置あるいは特別治療に関する注意

医師の応急処置 意識がない場合は回復体位にする。

特別な医療 症状を治療する。

セクション 5 : 消火作業のための対策

5.1 消火剤

適切な消火剤 ミストスプレー、(水)、ウォータースプレージェット、耐アルコール性泡、二酸化炭素(CO₂)、乾燥粉末

安全上使用してはいけない消火剤 大容量水ジェット

5.2 成分および混合物により発生しうる危険の特性

物質、準備、その燃焼 加熱又は火災により有毒ガスが発生する。
生成物、又は 方出ガス 適切な距離から注意して消火すること。
による特別な接触危険

5.3 消火措置に関する注意

消火のための特別の設備 火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。
直接の皮膚接触から保護するために防護服の必ず着用する。(普段の作業服に加えて)

消火上の追加情報 ウォータースプレージェットによるガス/蒸気/ミストを抑制する(止める)。
消火に使用した水を排水、地表、水路へ流さない。

セクション 6 : 予期しない放出の際の対策

6.1 人体の予防措置、保護装置、緊急事態の対処法

人体への警告 非緊急事態要員
意図しない放出の際の措置 :
人体防護装置を着用する。(セクション 8 を参照する)
全ての着火源を取り除く。
特に閉所では十分な換気の確保が必要です。

6.2 環境保護対策

環境上の警告 本製品が、排水、水路、又は地表へ流れ込まないように留意する。
広範囲に及ぶのを防ぐ。(例：隔離、オイルバリアの使用等)

6.3 滞留および洗浄のための方法と物質

洗浄の方法 硬化させて、機械類を用いて回収処理する。
回収された物質は廃棄物処理のセクションに記述されている処理を参照する。

6.4 他章を参照

参照する他章 参照: セクション 7, 8, 13

セクション 7: 取り扱いと保管

7.1 安全な処理のための措置

安全な取り扱いについての忠告 容器の栓をしっかりと閉める。
衛生処置: 使用の際は、飲食又は喫煙をしない。休憩前や終業時には手を洗う。汚れた衣類を脱ぎそして再使用する場合には洗濯する。
注意: 硬化状態の加工中に、ダストが発生する。

火と爆発からの身を守るため忠告 通常の使用では特に必要がない。

7.2 不適合性を考慮した安全な保管のための条件

保管スペースとコンテナの必要条件 容器の栓をしっかりと閉める/保管する。
容器を密閉し乾燥した場所に保管する。
地域の規則に従い保管する。

容器用に不適切な材質 オリジナル容器のみで保管する。

保管上のヒント 飲食物やペットフードから離す。

ドイツ保管クラス 10~13 (TRGS 510) (TRGS 510 = Technical Rule for Hazardous Substances 510, ドイツ危険物質 510 のためのテクニカル規則)
例: 11 (Brennbare Feststoffe = Flammable Solids = 燃焼性固体)

推奨の保管温度 5 ~ 25 °C

セクション 8: 暴露の制限と監視/人体防護装備

8.1 監視パラメーター

過酸化ベンゾイル

イギリス	
長期暴露値 [mg/m ³]	情報元
5	EH40/2005 作業場の暴露限界 (2011)

8.2 暴露の制限

呼吸の保護 換気が十分でない場合には、呼吸用の保護具を着用する。

手の保護 健康被害は通常の使用では知らされていないか、予想されていない。
長期間又は繰り返し接触用には保護手袋を使用する。

適切な材質: 例として欧州規格 EN 374 に準拠した保護手袋
ブチルゴム、クロロプレングム、ニトリルゴム、フッ素系ゴム

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

不適切な材質: PVC (ポリ塩化ビニル) 又はラバー手袋は推奨しません。

材質の厚さ: 使用の用途と期間により調整

変換期: 使用の用途と期間により調整

備考: 製造社から提供される透過性および破過時間に関する情報、そして特定の作業場の条件 (機械との酷使、接触時間) に注意する。

注意: 消耗したら取り替える。

眼の保護

飛散の対策に密着性が高い安全ゴーグル
例として欧州規格 EN 166 に準拠したサイドシールド付き安全ゴーグル

皮膚および身体保護

長袖の服を着用する。

注意: 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、人体保護を選択する。

一般的な保護と衛生対策

本製品を使用する際は、飲食、喫煙は禁止。
皮膚、眼との接触は避ける。
休憩前や終業時には手及び顔を洗う。 必要な場合はシャワーを浴びる。
飲食物やペットフードから離す。
この製品を扱う前には、皮膚保護クリーム等を使う。

環境保護規則についての情報

環境に対する特別処置は不要。 セクション 6 及び 7 を参照。

環境対策

十分な換気を行う。

セクション 9 : 物理的および化学的な性質

9.1 物理的および化学的な性質の基本的な情報

物理的な状態	ペースト
色	灰色
匂い	特徴あり
臭気閾値	確定されていない
融点 [°C] / 氷点 [°C]	入手できるデータは無い
沸点 [°C]	入手できるデータは無い
引火点 [°C]	>100
蒸発速度 [kg/(s*m ²)]	入手できるデータは無い
可燃性 (固形、ガス状)	入手できるデータは無い
爆発限界 [Vol-%]	入手できるデータは無い
蒸気圧力 [kPa]	入手できるデータは無い
蒸気密度	入手できるデータは無い
密度 [g/cm ³] 温度	1.7 ~ 1.9 23 °C
相対密度	入手できるデータは無い
水可溶性 [g / l]	入手できるデータは無い
可溶性 [g / l]	入手できるデータは無い
分解係数 (n-オクタン / 水) [log P O / W]	入手できるデータは無い
自然引火性 [°C]	非自然発火性
分解温度 [°C]	入手できるデータは無い
動的粘性 [kg/(m*s)] 温度	90 ~ 150 20 °C
爆発の危険	非爆発性
酸化性	酸化性は無い

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 10: 安定性と反応性

10.1 反応性

反応性 規定に従っての取扱い及び保管された場合は危険な反応は無い。
指示どおりの保管と適用においては分解ない。

10.2 化学安定性

化学的な安定性 保管及び取扱いに関する推奨する規制を適用する場合は安定している。
正しい保管に関する更なる情報: セクション 7 を参照。

10.3 危険有害反応

危険な反応 規定に従っての取扱い及び保管された場合は危険な反応は無い。

10.4 回避すべき条件

回避すべき条件 混合物は推奨される保管、使用、及び温度の条件下で化学的に安定している。

10.5 不適合物質

回避すべき物質 強酸および酸化剤

10.6 有害な分解生成物

有害な分解生成物 既知の危険な分解生成物はありません。

セクション 11: 毒性情報

11.1 毒性の影響による情報

経口毒性 [mg/kg]

有害な成分

過酸化ベンゾイル			
値	試験基準	試験動物	情報元
> 5000	LD ₅₀	ラット	社内データ

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン		
値	試験基準	情報元
600	LC ₅₀	社内データ

経皮毒性 [mg/kg]

有害な成分

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン		
値	試験基準	情報元
> 5000	LD ₅₀	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

吸入毒性 [mg/l]

有害な成分

過酸化ベンゾイル			
値	試験基準	試験動物	情報元
> 24300	LC ₅₀	ラット	社内データ

感作性

有害な成分

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン			
値	測定方法	試験動物	情報元
皮膚感作性	OECD 429	マウス	社内データ

セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性

魚毒性 [mg/l]

有害な成分

過酸化ベンゾイル			
値	試験基準	暴露期間	情報元
0.06	LC ₅₀	96 時間	社内データ

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン					
値	試験基準	試験動物	測定方法	暴露期間	情報元
30	LC ₅₀	ニジマス (Rainbow trout)	OECD 203	96 時間	社内データ

ミジンコ毒性 [mg/l]

有害な成分

過酸化ベンゾイル				
値	試験基準	試験動物	暴露期間	情報元
0.11	EC ₅₀	オオミジンコ (Big water flea)	48 時間	社内データ

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン					
値	試験基準	試験動物	暴露期間	測定方法	情報元
8.4	EC ₅₀	オオミジンコ (Big water flea)	48 時間	OECD 202	社内データ

藻類毒性 [mg/l]

有害な成分

過酸化ベンゾイル			
値	試験基準	暴露期間	情報元
0.06	EC ₅₀	72 時間	社内データ

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン					
値	試験基準	試験動物	暴露期間	測定方法	情報元
0.79	IC ₅₀	Pseudokirchneriella subcapitata	72 時間	OECD 201	社内データ

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

NOEC (無影響濃度) (魚) [mg/l]

有害な成分

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン				
値	試験基準	試験動物	試験基準	情報元
11.9	NOEC	ファットヘッドミノー	OECD 210	社内データ

NOEC (無影響濃度) (ミジンコ) [mg/l]

試験基準	1
試験動物	NOEC (無影響濃度) オオミジンコ (Big water flea)
測定方法	OECD 202
備考	混合物関連情報 (実験データ) 等

NOEC (無影響濃度) (藻類) [mg/l]

試験基準	0.5
試験動物	NOEC (無影響濃度) オオミジンコ (Big water flea)
測定方法	OECD 201
備考	混合物関連情報 (実験データ) 等

12.2 残存性および退化性

生分解性

有害な成分

2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン	
値	情報元
易生分解性	社内データ

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄処理方法

廃棄の注意

排水は水路、地面に排出しないように留意する。
 廃棄物処理は、準拠する地域の規制等の指示に従う。
 容器内の残物を空にする。
 空容器: 可能な場合は、廃棄又は焼却よりもリサイクルする。
 製品: 固形廃棄物として処分するか、地域の規制に従い適切な設備において燃焼させることができる。

廃棄コード (ドイツの例)

欧州廃棄物カタログによると、廃棄コードは製品ごとに決められているのではなく、その適用に基づいて決められている。

以下の廃棄コードは例である。

製品 (主剤 及び 硬化剤)

200127 – 危険物質を含むペイント、インク、接着剤、及び 樹脂

080409 – 有機剤またはその他危険物質を含む廃棄接着剤及びシーリング剤

硬化した製品片 及び 完全に出し切ったカートリッジ

200000 – 分別収集物を含む自治体廃棄物 (家庭系廃棄物と類似の商業系、工場系、産業系廃棄物)

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 14: 輸送に関する情報

	陸上交通 (ADR/RID)	海上運輸 (IMDG)	空輸 (ICAO/IATA)
14.1 UN 番号	該当無し	該当無し	該当無し
14.2 製品の概要	ADR により非危険製品	IMDG により非危険製品	IATA により非危険製品
14.3 輸送における危険有害性クラス	該当無し	該当無し	該当無し
14.4 梱包グループ	該当無し	該当無し	該当無し
14.5 環境に対する有害性	該当無し	該当無し	該当無し
14.2 UN 正式輸送名		非危険製品	非危険製品

14.6 使用者のための注意点

注意点 通常の使用では必要が無い。

14.7 MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードに基づく大量輸送

MARPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードに基づく大量輸送 該当無し

セクション 15: 法令規制の情報

15.1 安全、健康及び環境に関する規定/物質及び混合物に関する特別法規定

VOC < 1 g/l / < 0.1 %

Deco-paint 規制 関連しない

GefStoffV 付属書 II による発がん性有害物質 無い

参照: GefStoffV (Gefahrstoffverordnung) = ドイツにおける危険有害物質に関連する法令

職業上の制限 該当無し

15.2 化学物質安全性評価

安全性評価 本混合物の物質の化学物質安全性評価は実施されていない。
本安全性データシートには統合された形式で複数の暴露シナリオ (Exposure Scenario = ES)が含まれています。
暴露シナリオの内容は本安全性データシートのセクション 1.2, 8, 9, 12, 15 及び 16 に含まれております。

追加の規制 本安全性データシートには化学物質の登録(Registration)、評価(Evaluation)、認可(Authorization)、制限(Restriction)に関する (REACH)評議会の欧州議会の規制 (EC) No. 1907/2006 の改訂で委員会規制(EU) 2015/830 of 28 May 2015 に従って作成されています。

安全性データシート (SDS) 1907/2006/EC に準拠

商用製品名: **FIS VS Plus 360 S** — 容器 B (硬化剤)

和文作成日: 2020 年 12 月 29 日

バージョン: jp/2/en



バージョン: 2020 年 9 月 15 日

英文原版成日: 2020 年 10 月 28 日

セクション 16: その他の情報

関連の H フレーズ

H241: 熱すると火災や爆発のおそれ。
H301: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがある。
H318: 重篤な眼の損傷。
H319: 強い眼刺激。
H330: 吸入すると生命に危険。
H400: 水生生物に強い毒性がある。
H410: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性がある。
H411: 長期的影響により水生生物に毒性がある。

危険等級の表記

Eye Irrit. = 重篤な眼への刺激
Skin Sens. = 皮膚感作
Aquatic Acute = 急性水生毒性
Aquatic Chronic = 慢性水生毒性
Acute Tox. = 急性毒性
Eye Dam. = 眼の損傷

(EC)1207/2008 [CLP] 規制に
準ずる混合物の分類と評価

分類	評価
重篤な眼の損傷 2 ; H319	算出済み
皮膚刺激 1A ; H317	算出済み
急性水生毒性 1 ; H400	算出済み
慢性水生毒性 1 ; H411	算出済み

推奨された制限

専門的な資料等を守る。

前バージョンからの変更箇所をアスタリスク(*)で示す。

本情報は弊社の知識および経験の最新状況に基づいております。本安全性データシートは安全性要件に基づいて製品を説明しております。本情報は性能、特性、品質の保証をするものではありません。